

公立大学法人公立千歳科学技術大学
令和4年度及び第1期中期目標期間
(4年目終了時) 業務実績評価書

小項目別評価
(様式例)

令和5年 月

千歳市公立大学法人評価委員会

目 次

令和4年度の業務実績に係る小項目別評価について	P 1	8 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	42
令和4年度業の務実績に係る項目別評価結果一覧	1	(1) 法令遵守及び人権の尊重に関する目標を達成するための措置	42
第1期中期目標期間の業務実績見込みに係る小項目別評価について	2	(2) 安全衛生及び危機管理に関する目標を達成するための措置	44
第1期中期目標期間の業務実績見込みに係る項目別評価結果一覧	2	(3) 施設・設備の整備、活用等に関する目標を達成するための措置	46
小項目別評価	2	9 中期目標期間において達成すべき数値的目標	47
2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置	2	10 予算(人件費を含む)、収支計画及び資金計画	48
(1) 学生の受入れに関する目標を達成するための措置	2	11 短期借入金の限度額	48
(2) 教育に関する目標を達成するための措置	5	12 出資等に係る不要財産の処分に関する計画	48
(3) 研究に関する目標を達成するための措置	12	13 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	48
(4) 学生及び卒業生への支援に関する目標を達成するための措置	15	14 剰余金の使途	48
3 地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置	19	15 公立大学法人公立千歳科学技術大学の業務運営並びに財務及び 会計に関する規則で定める事項	48
(1) 地域の知の拠点としての取組に関する目標を達成するための措置	19		
(2) 産業の振興に関する目標を達成するための措置	23		
(3) 教育機関との連携に関する目標を達成するための措置	25		
(4) 地域での学生の活躍に関する目標を達成するための措置	27		
4 国際交流に関する目標を達成するための措置	29		
(1) 学生の海外機関との連携に関する目標を達成するための措置	29		
(2) 教職員の海外機関との連携に関する目標を達成するための措置	29		
5 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	31		
(1) 運営体制の改善に関する目標を達成するための措置	31		
(2) 事務等の効率化及び合理化に関する目標を達成するための措置	33		
(3) 人事制度と人材育成に関する目標を達成するための措置	35		
6 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	37		
(1) 自己収入の確保に関する目標を達成するための措置	37		
(2) 経費節減に関する目標を達成するための措置	39		
7 自己点検、評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置	40		
(1) 評価に関する目標を達成するための措置	40		
(2) 情報公開及び広報活動に関する目標を達成するための措置	40		

■令和4年度の業務実績に係る小項目別評価について

公立大学法人公立千歳科学技術大学が行った自己点検・評価のうち、小項目別評価について、評価委員会において妥当性を検討し、分析評価を行った。

公立大学法人公立千歳科学技術大学の年度評価実施要領（抜粋）

2 法人による自己点検・評価

(1) 小項目別評価

法人は、年度計画の記載項目（小項目）及び指標ごとに、当該事業年度の業務の実績を明らかにするとともに、以下の4段階により自己評価する。

評価	定義
A	年度計画を上回って実施している
B	年度計画を計画どおりに実施している
C	年度計画をやや遅れて実施している/実施が不十分
D	年度計画を大幅に下回っている/実施していない

■令和4年度の業務実績に係る項目別評価結果一覧

（単位：件）

項目名	評価	A		B		C		D	
		小項目	指標	小項目	指標	小項目	指標	小項目	指標
教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置	評価委員会	10	3	28	7	0	0	0	0
	法人	9	3	29	7	0	0	0	0
地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置	評価委員会	2	9	14	1	0	0	0	0
	法人	1	9	15	1	0	0	0	0
国際交流に関する目標を達成するための措置	評価委員会	2	2	2	0	0	0	0	0
	法人	2	2	2	0	0	0	0	0
業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	評価委員会	2	3	15	1	0	0	0	0
	法人	2	3	15	1	0	0	0	0
財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	評価委員会	1	3	9	1	0	0	0	0
	法人	1	3	9	1	0	0	0	0
自己点検、評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置	評価委員会	0	2	5	0	0	0	0	0
	法人	0	2	5	0	0	0	0	0
その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	評価委員会	1	2	10	5	0	0	0	0
	法人	1	2	10	5	0	0	0	0

■第1期中期目標期間の業務実績見込みに係る小項目別評価について

公立大学法人公立千歳科学技術大学が行った自己点検・評価のうち、小項目別評価について、評価委員会において妥当性を検討し、分析評価を行った。

公立大学法人公立千歳科学技術大学の中期目標期間評価（4年目終了時評価）実施要領（抜粋）

2 法人による自己点検・評価

(1) 小項目別評価

- 地方独立行政法人法第78条の2第1項第2号に定める評価（4年目終了時評価） -

法人は、中期計画の記載項目（小項目）及び指標ごとに、中期目標の期間の初年度から4年度目までの各事業年度の業務の実績並びに5年度目及び6年度目の実施予定を明らかにするとともに、以下の4段階により自己評価する。

評価	定義
A	見込まれる中期計画の達成状況が良好である。
B	見込まれる中期計画の達成状況がおおむね良好である。
C	見込まれる中期計画の達成状況がやや不十分である。
D	見込まれる中期計画の達成状況が著しく不十分であり、重大な改善事項がある。

■第1期中期目標期間の業務実績見込みに係る項目別評価結果一覧

（単位：件）

項目名	評価	A		B		C		D	
		小項目	指標	小項目	指標	小項目	指標	小項目	指標
教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置	評価委員会	10	3	28	7	0	0	0	0
	法人	9	3	29	7	0	0	0	0
地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置	評価委員会	2	9	14	1	0	0	0	0
	法人	1	9	15	1	0	0	0	0
国際交流に関する目標を達成するための措置	評価委員会	2	2	2	0	0	0	0	0
	法人	2	2	2	0	0	0	0	0
業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	評価委員会	2	3	15	1	0	0	0	0
	法人	2	3	15	1	0	0	0	0
財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	評価委員会	1	3	9	1	0	0	0	0
	法人	1	3	9	1	0	0	0	0
自己点検、評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置	評価委員会	0	2	5	0	0	0	0	0
	法人	0	2	5	0	0	0	0	0
その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	評価委員会	1	2	10	5	0	0	0	0
	法人	1	2	10	5	0	0	0	0

小項目別業務実績 自己点検・評価結果

中期目標	中期計画	番号	4 年度 年度計画		法人による自己点検・評価					評価委員会調査・分析		
					令和元年度から令和 6 年度までの業務の実績見込み				年度	中期	評価委員会 意見等	年度
2 教育研究等の質の向上に関する目標												
	2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置											
(1) 学生の受入れに関する目標												
アドミッ ション・ ポリシー （入学者 受入方 針）を明 確に定 め、多面 的な評価 による入 試の推進 と国の入 試制度改 革への対 応を行う とともに、 受験生 の利便性 への配慮 など、 受験環境 の改善を 進め、意 欲ある学 生の確保 に努め る。また、 留学生や社会 人等、多 様な人材 の受入れ を推進す るための 検討を行う。	(1) 学生の受入れに関する目標を達成するための措置											
	ア 本学が求める入学者を確保するため、主に知識や思考力を評価する一般選抜のほか、総合型選抜 ^{*2} 、学校推薦型選抜を実施する。											
	総合型選抜 では、小論文、課題、調査書、面接試験などにより多面的な評価を実施する。	1		（令和元年度～令和 3 年度の業務実績概略） ○総合型選抜では、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿って「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の「入学者に求める能力（学力の 3 要素）」について多面的な評価による選抜を実施し、学力の 3 要素のうち特に「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を重視して選抜を行った。（令和 2 年度に A0 入試から総合型選抜に名称を変更した。） ○令和 2 年度の総合型選抜の実施結果を踏まえ、総合型選抜の実施方法や評価方法について検討の上、令和 3 年 7 月 14 日に開催した入学委員会（委員長：学長、構成員：学部長、アドミッションセンター長、事務局長、入試広報課長、入試広報係長）において選抜方法を決定した。なお、見直し内容は、以下のとおりである。 （ア）1 次選考について、「出願者多数の場合、実施することがある」としていたものを、出願者の人数にかかわらず「出願書類（志望理由書及び小論文）並びに Web 学習教材を活用した学習の取組状況で 1 次選考を行い、1 次選考通過者に対してスクーリング及び面接試験による 2 次選考を行う」ことに改めた。 （イ）従来は、評価方法について「各評価項目を総合して評価する」としていたが、それを「自己推薦書、基礎学力検査及び小論文、面接試験の各評価において、一定の基準に達していない者は不合格とすることがある」という内容に改めた。 ○令和 3 年度の総合型選抜は 18 名の募集人員に対し、65 名の志願（令和 2 年度 63 名）があった。志望理由書及び小論文並びに Web 教材を活用した学習の取組状況を総合的に判断し、令和 3 年 10 月 15 日に 1 次選考の結果を発表した。 ○1 次選考通過者に対し、令和 3 年 10 月 31 日にスクーリング（基礎学力検査（数学）・グループワーク・プレゼンテーション）及び面接試験からなる 2 次選考を実施し、11 月 9 日に合格者 22 名（令和 2 年度 22 名）を発表した。 ○合格者 22 名全員が入学手続きを実施し、入学者は 22 名（令和 2 年度 22 名）であった。	R1	B				R1	B	
					R2	B				R2	B	
					R3	A				R3	A	
			総合型選抜＊2 では、前年度の内容を検証し、必要に応じて実施方法・評価方法等を見直し、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を重視する選抜を行う。		（令和 4 年度の業務実績） ○総合型選抜の実施結果を踏まえ、総合型選抜の実施方法や評価方法について検討の上、○月○日に開催した入学委員会（委員長：学長、構成員：学部長、アドミッションセンター長、事務局長、入試広報課長、入試広報係長）において選抜方法を決定した。なお、見直し内容は、以下のとおりである。 ○総合型選抜は 18 名の募集人員に対し、○名の志願があった。志望理由書及び小論文並びに Web 教材を活用した学習の取組状況を総合的に判断し、○月○日に 1 次選考の結果を発表した。 ○1 次選考通過者に対し、○月○日にスクーリング（基礎学力検査（数学）・グループワーク・プレゼンテーション）及び面接試験からなる 2 次選考を実施し、○月○日に合格者○名を発表した。 ○合格者○名全員が入学手続きを実施し、入学者は○名であった。	R4					R4	
				（令和 5 ・ 6 年度の業務実施予定） ○令和 5 年度は、総合型選抜では、前年度の内容を検証し、必要に応じて実施方法・評価方法等を見直し、多面的な評価を行うこととし、特に「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を重視する選抜を実施する。 ○令和 6 年度は中期計画達成見込み。	-	-			-	-		
	学校推薦型 選抜については基礎学力を担保した上で、調査書及び面接試験を通じて、求める入学者確保を可能とする評価を実施する。	2		（令和元年度～令和 3 年度の業務実績概略） ○学校推薦型選抜では、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿って、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の「入学者に求める能力（学力の 3 要素）」について多面的な評価による選抜を実施し、学力の 3 要素の 3 つすべてを重視して評価を行った。（令和 2 年度に推薦入試から学校推薦型選抜に名称を変更した。） ○令和 2 年度の学校推薦型選抜の実績結果を踏まえ、学校推薦型選抜の実施方法や評価方法について検討の上、7 月 14 日に開催した入学委員会（委員長：学長、構成員：学部長、アドミッションセンター長、事務局長、入試広報課長、入試広報係長）において選抜方法を決定した。なお、見直し内容は、従来、評価方法について「各評価項目を総合して評価する」としていたが、それを「自己推薦書、基礎学力検査及び小論文、面接試験の各評価において、一定の基準に達していない者は不合格とすることがある」という内容に改めた。 ○令和 3 年度の学校推薦型選抜のうち学校推薦型 A（千歳地区）は 12 名の募集人員に対し、15 名の志願（令和 2 年度 11 名）があった。また、学校推薦型 B（全国）は 30 名の募集人員に対し、74 名の志願（令和 2 年度 77 名）があった。書類審査（自己推薦書、学校長推薦書、調査書）の後、志願者に対して令和 3 年 12 月 4 日及び 12 月 5 日に基礎学力検査（数学）、小論文及び面接試験を実施し、令和 3 年 12 月 15 日に学校推薦型 A（千歳地区）7 名（令和 2 年度 8 名）、学校推薦型 B（全国）37 名（令和 2 年度 35 名）、合計 44 名（令和 2 年度 43 名）の合格者を発表した。 ○合格者 44 名全員が入学手続きを行い、入学者は 44 名（令和 2 年度 43 名）であった。	R1	B				R1	B	
					R2	B				R2	B	
					R3	A				R3	A	
					学校推薦型選抜では、千歳地区、全国の区分で選抜を行うこととし、基礎学力を担保するため、学校長推薦書及び調査書の提出のほか、試験日には面接試験や数学の基礎学力検査を課す。また、前年度推薦入試の内容を検証し、必要に応じて実施方法・評価方法の見直しを行う。		（令和 4 年度の業務実績） ○学校推薦型選抜の実績結果を踏まえ、学校推薦型選抜の実施方法や評価方法について検討の上、○月○日に開催した入学委員会（委員長：学長、構成員：学部長、アドミッションセンター長、事務局長、入試広報課長、入試広報係長）において選抜方法を決定した。なお、見直し内容は、以下のとおりである。 ○学校推薦型選抜のうち学校推薦型 A（千歳地区）は 12 名の募集人員に対し、○名の志願があった。また、学校推薦型 B（全国）は 30 名の募集人員に対し、○名の志願があった。書類審査（自己推薦書、学校長推薦書、調査書）の後、志願者に対して○月○日及び○月○日に基礎学力検査（数学）、小論文及び面接試験を実施し、○月○日に学校推薦型 A（千歳地区）○名、学校推薦型 B（全国）○名、合計○名の合格者を発表した。 ○合格者○名全員が入学手続きを行い、入学者は○名であった。	R4				R4
				（令和 5 ・ 6 年度の業務実施予定） ○令和 5 年度は、学校推薦型選抜では、千歳地区、全国の区分で選抜を行うこととし、基礎学力を担保するため、学校長推薦書及び調査書の提出のほか、試験日には面接試験や数学の基礎学力検査、小論文を課す。また、前年度推薦入試の内容を検証し、必要に応じて実施方法・評価方法の見直しを行う。 ○令和 6 年度は中期計画達成見込み。	-	-			-	-		

中期目標		中期計画	番号	4 年度 年度計画	法人による自己点検・評価			評価委員会調査・分析				
					令和元年度から令和 6 年度までの業務の実績見込み			年度	中期	評価委員会 意見等	年度	中期
		イ 効果的な広報活動・学生募集活動を実施するとともに、受験者の試験会場等の利便性にも配慮する。	3		（令和元年度～令和 3 年度の業務実績概略） ○令和 3 年度のオープンキャンパスについては、来場型及び Web 型（オンデマンド配信）の双方で毎年 3 回実施することを予定していたが、第 1 回及び第 2 回オープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が発令されたことから、来場型の内容を Live 配信へ切り替えて行った。第 3 回オープンキャンパスは感染対策を十分に行った上で来場型で実施した。第 1 回オープンキャンパス（Live 配信）には 119 名、第 2 回オープンキャンパス（Live 配信）には 273 名、第 3 回オープンキャンパス（来場型）には 394 名の計 786 名の参加があった。また、Web 型（オンデマンド配信）オープンキャンパスについては、第 1 回は 70 名、第 2 回は 242 名、第 3 回は 154 名の計 466 名の申込みがあり、来場型、Live 配信、オンデマンド配信の総計で 1,252 名（令和元年度は対面型で 3 回実施し 905 名の参加、令和 2 年度は Web 型で 2 回実施し 699 名の参加）の申込みがあった。 ○令和 3 年度の出張講座については、オンライン実施 8 回を含め、計 23 回（令和元年度は 32 回、令和 2 年度は未実施）行った。 ○令和 3 年度の大学見学については、令和 2 年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施及び受入れを見合わせることにした。（令和元年度は高校生及び PTA 研修の見学を合わせて 19 回受入れ） ○令和 3 年度の進学相談会については、遠方のため本学でのオープンキャンパスに参加できない受験生でも、自宅の近隣の会場で入試に関する説明を聞くことで早くから受験対策を講じられるように受験生の利便性への配慮並びに受験環境の改善を考慮し、道内及び道外の各地区で開催される進学相談会に参加し、会場参加 72 会場（令和元年度 134 会場、令和 2 年度 59 会場）、Web 参加 20 会場（令和元年度は未実施、令和 2 年度 9 会場）、資料参加 53 会場（令和元年度 101 会場、令和 2 年度 54 会場）で、高校生及び保護者等 1,386 名（令和元年度 2,089 名、令和 2 年度 859 名）に対し本学の概要説明等を行った。 ○令和 3 年度の高校訪問については、緊急事態宣言の影響により例年より訪問校数が減少したが、入学実績校を中心に道内高校 68 校及び重点地域である東北地区（青森県・岩手県・山形県）の高校 20 校の計 88 校（令和元年度○校、令和 2 年度 110 校）を訪問し、入試制度等の説明を行った。 ○令和 3 年度の一般選抜前期日程の個別学力検査は、2 月 25 日に実施し、受験者への利便性の配慮の観点から、令和 2 年度に引き続き地方会場として旭川、函館、釧路、盛岡、東京、名古屋に地方試験会場を設けることとし、計 53 名（令和元年度○名、令和 2 年度 75 名）の地方試験会場への出願があった。	R1	A			R1	A	
				R2	B	R2	B					
				R3	A	R3	A					
				イ 広報・学生募集活動として、オープンキャンパスについては、コロナ禍の状況を踏まえ、Web 型・来場型で実施するとともに、出張授業、進学相談会、高校訪問等を行う。なお、進学相談会については、道内のほか東北地区を重点地域に定め、積極的に参加する。また、一般選抜試験の前期日程では、本学以外の試験会場を道内外に設置する。	（令和 4 年度の業務実績） ○オープンキャンパスについては、来場型及び Web 型（オンデマンド配信）の双方で毎年 3 回実施することを予定しており、3 回実施した。第 1 回オープンキャンパスには○名、第 2 回オープンキャンパスには○名、第 3 回オープンキャンパスには○名の計○名の参加があった。 ○出張講座については、オンライン実施○回を含め、計○回行った。 ○大学見学については、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施及び受入れを見合わせることにした。 ○進学相談会については、遠方のため本学でのオープンキャンパスに参加できない受験生でも、自宅の近隣の会場で入試に関する説明を聞くことで早くから受験対策を講じられるように受験生の利便性への配慮並びに受験環境の改善を考慮し、道内及び道外の各地区で開催される進学相談会に参加し、会場参加○会場、Web 参加○会場、資料参加○会場で、高校生及び保護者等○名に対し本学の概要説明等を行った。 ○高校訪問については、緊急事態宣言の影響により例年より訪問校数が減少したが、入学実績校を中心に道内高校○校及び重点地域である東北地区（青森県・岩手県・山形県）の高校○校の計○校を訪問し、入試制度等の説明を行った。 ○一般選抜前期日程の個別学力検査は、○月○日に実施し、受験者への利便性の配慮の観点から、引き続き地方会場として旭川、函館、釧路、盛岡、東京、名古屋に地方試験会場を設けることとし、計○名の地方試験会場への出願があった。	R4				R4		
		-	（令和 5 ・ 6 年度の業務実施予定） ○令和 5 年度は、広報・学生募集活動として、オープンキャンパスについては、Web 型・来場型で実施するとともに、出張授業、進学相談会、高校訪問等を行う。なお、進学相談会については、道内のほか東北地区を重点地域に定め、積極的に参加する。また、一般選抜試験の前期日程では、本学以外の試験会場を道内外に設置する。 ○令和 6 年度は中期計画達成見込み。	-	-	-	-					
		ウ 国の入試制度改革にあわせて遅滞なく本学の入試制度を改革する。	4		（令和元年度～令和 3 年度の業務実績概略） ○令和 3 年度は、令和 5（2023）年度入学者選抜の概要について、文部科学省「令和 4 年度大学入学者選抜実施要項について（通知）」（令和 3 年 6 月 4 日付 3 文科高第 284 号）及び「令和 5 年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱について（通知）」（令和 3 年 6 月 4 日付 3 文科高第 285 号）等を踏まえ、令和 4 年 2 月に開催した入学委員会での議を経て、令和 4 年 3 月に本学ホームページで公表を行った。（令和元年度は令和元年 5 月に公表、令和 2 年度は令和 3 年 2 月に公表） ○「入学者選抜実施要項」において「各大学は、個別学力検査の実施教科・科目及び基本的な事項は入学者選抜試験の前年の 7 月 31 日までに公表するもの」と通知がなされていたが、本学は受験生への利便性の配慮として、令和 2 年度から対象学年が高校 3 年生に進級する直前の 3 月までに本学の入学者選抜制度の概要について予告として本学ホームページで公表した。	R1	B					
						R2	B	R2	B			
						R3	A	R3	A			
				ウ 国の入試制度改革に合わせ、令和 6 年度入学者選抜制度概要（予告）について検討し、速やかに本学ホームページで公表する。	（令和 4 年度の業務実績） ○令和 6（2024）年度入学者選抜の概要について、文部科学省「令和○年度大学入学者選抜実施要項について（通知）」（令和○年○月○日付文科高第○号）及び「令和○年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱について（通知）」（令和○年○月○日付文科高第○号）等を踏まえ、○月に開催した入学委員会での議を経て、○月に本学ホームページで公表を行った。 ○「入学者選抜実施要項」において「各大学は、個別学力検査の実施教科・科目及び基本的な事項は入学者選抜試験の前年の 7 月 31 日までに公表するもの」と通知がなされていたが、本学は受験生への利便性の配慮として、令和 2 年度から対象学年が高校 3 年生に進級する直前の 3 月までに本学の入学者選抜制度の概要について予告として本学ホームページで公表した。	R4				R4		
		-	（令和 5 ・ 6 年度の業務実施予定） ○令和 5 年度は、国の入試制度改革に合わせ、令和 7 年度入学者選抜制度概要（予告）について検討し、速やかにホームページで公表する。 ○令和 6 年度は中期計画達成見込み。	-	-	-	-					